

引 導 歎 徳 文

宗祖伝教大師、発願文ニ曰ク「悠々タル三界八純ツパラ苦ニシテ安キコトナク、篠々タル四生八タダ憂イニシテ楽シカラザル也ト、」亦曰ク「風命保チ難ク露体消工易シ、生ケル時善ヲ為サズンバ死スルノ日、獄ノ薪トナラント」爰ニ新圓寂「寿翁豊勝居士」、故・松井豊蔵氏、宿縁ノ感ズルトコロ、受ケ難キ人身ヲ受ケ、遭イ難キ仏法ニ値イ、離レガタキ輪廻ヲ離レ浄土ニ赴カン八希有ノ勝縁タリ。

顧ミレバ靈位八 年 月 日、村岡、 家ニテ、父・ 、母・ 夫婦ノ間ニ生ヲ受ケ、両親ノ愛育ニ良ク応工成長。ソノ資性、勤勉ニシテ実直、マタ温厚誠実ナリ。

学ヲ修メシ後八、自ラ志願シ陸軍軍人トシテ兵役ニ付キ、中国ノ地ヘト趣キ、数々ノ戦火ヲ潜ル。

昭和 年二八一時除隊トナリ、 家ヨリ 夫人ヲ娶リ、鴛鴦ノ契リヲ結び、新夫婦トシテ新タナ門出ヲ迎エルモ、戦況八逼迫シ靈位八再ビ戦地ヘト駆リ出サレル。

幸イニシテ靈位八無傷ニテ終戦迎工、復員後八職ヲ発足間モナイニ求メ、ノ事務ヲ一手ニ任サレ、食糧情勢厳シキ中、靈位八真摯ニソノ職務ヲ全ウシ、コレヲ更ニ発展サセ現在ノ地ニ 店ヲ開業。地域ノ 店トシテ未永ク多クノ顧客ニ預カリ、近年マデ営業ヲ継続スル。

マタ、靈位八 在籍中、請ワレテ 村岡支店ノ支店長トシテ入行

スルハ、ソノ人望ノ厚サヲ良ク物語ル。

幸イニシテ夫婦ノ間二八三男一女ノ子宝ニ恵マレ、子息ヲモヨク両親ノ愛育ニ応エテ成長。ソレゾレニ良キ伴侶ヲ得テ独立、新境地ヘト巣立ツ。

正二順風満帆、職ヲ納メシ後ハ、ナド地域社会ノ役職ヲ担イ、マタ、時二野二山ニ親シミ、夫婦共々悠々自適、孫子ノ成長ヲ心ノ糧ニ、更ナル家ノ発展ニ心弾マセル。

マタ、霊位八崇仏敬祖ノ念厚ク、特ニ法雲寺檀徒会ノ役員ヲ永年ニ渡リ務メ、平成 年カラ 年マデノ1期4年間八檀徒会会長トシテ、山名史料館開館事業及ビ、現任職普山事業ナドヲ檀家ノ先頭ニ立チ事業円成ヘト見事導ク。正二ソノ貢献、甚ダ篤シ。

シカシ霊位ト言エドモ重ネタル齡ニ八抗シ難ク、卒寿ヲ過ギタ頃ヨリ体力ノ低下ヲ悟リ、近年デ八床ニ伏セル日モ多クナル。

コノ 月モ体調ヲ崩シ入院、親族一同ハ一日モ早イ退院回復ヲ乞イ願イ献身看護ノ日々ヲ送ル。

然レドモ、恵マレタ体軀・体力ヲ有スル霊位ト言エドモ、コノ度ノ入院デ八回復ニ向ウコト叶ワズ、平成 年 月 日、午前 時半、親族一同ノ見守ル中、眠ルガ如ク安ラカニ息ヲ引キ取ル。

齡コレ行年 歳也。惜シムベシ、痛ムベシ、今ヤ再ビ起キテ愛語ヲ交ワスコト無シ、

コレ人界ノ掟ト言ウベシ、コノ上ハ速ヤカナル霊位ノ往生極樂ヲ祈ルノミ。

靈位諦聽諦聽、善思念思、釈迦如来八三界ノ慈父トシテコノ土ヨリ撥遣シ、
阿弥陀如来八四生ノ悲母トシテ、彼ノ土ヨリ来迎シ給ウ、豈行カザルベケン
ヤ、別離ニ臨ミ往生ノ秘鍵ヲ呈ス。

衆生受仏戒 即得大覺位

オンサンマヤサタバ

時維 平成 年 月 日 法雲寺 世 示